松翠深く蒼浪遙けき逗子より

泉鏡花

青空文庫

櫻山に夏鶯音を入れつゝ、岩殿寺の青葉に目白鳴く。なつかしや御堂の松翠愈々深く、鳴鶴ヶ崎の浪蒼くして、新宿の濱、羅の雪を敷く。そよ〳〵と風の渡る處、日盛りも蛙の聲高らかなり。夕涼みには脚の赤き蟹も出で、目の光る鮹も顯る。撫子はまだ早し。山百合は香を留めつ。月見草は露ながら多くは別荘に圍はれたり。野の花は少けれど、よし蘆垣の垣間見を咎むるもののなきが嬉し。

田越の蘆間の星の空、池田の里の小雨の螢、いづれも名所に數へなん。魚は小鰺最も佳し、野郎の口よりをかしいが、南瓜の味拔群也。近頃土地の名物に浪子饅頭と云ふものあり。此處の中學あたりの若殿輩に、をかしき其わけ知らせぬが可かるべし、と思ふこそ尚をかしけれ。

大正四年七月

青空文庫情報

底本：「鏡花全集　巻二十八」岩波書店
1942（昭和17）11月30日第1刷発行
1988（昭和63）12月2日第3刷発行
※題名の下にあった年代の注を、最後に移しました。
※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。
入力：門田裕志
校正：米田進
2002年4月24日作成
2003年5月18日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

松翠深く蒼浪遙けき逗子より

泉鏡花

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/